



今年も図書室をよろしくお願ひします。  
1月はそれぞれが次のステップの準備に入る時期となります。  
図書室を上手に利用して心と身体健康バランスを保ちながら  
過ごしましょう。

## 3年生の皆さんへ

## 卒業式までの貸出について

3年生は2月13日から出校限となりますが、毎日登校しない人も図書室を利用できます。以下の注意事項を確認してたくさん利用してくださいね。

★3年生の1月30日以降の貸出は、各自の登校の予定に合わせて返却日を調整します  
13日以降登校するか、もしくは返却のために学校まで来られるかなどをお尋ねします。  
ご了承ください。

★返却が遅れた場合はご自宅に連絡する場合があります

★3月いっぱい利用できます

基本的に本を借りていられるのは卒業式までとしますが、入試対策などで必要な本は借りることができます。気軽に相談してください。

自習もできます



### 『夜明けのすべて』 瀬尾まいこ

職場の人たちの理解に助けられながらも、イライラが抑えられない美紗は、やる気がないように見える転職してきたばかりの生きがいも気力も失っていた山添君に当たってしまう。互いに友情も恋も感じていないけれど、おせっかいな者同士の二人は、自分の病気は治せなくても、相手を助けることはできるのではないかと思うようになる。

### 『木曜日はココアを』 青山美智子

僕が働く喫茶店には、不思議な常連さんがいる。必ず木曜日に来て、同じ席でココアを頼み、エメールを書く。僕は、その女性を「ココアさん」と呼んでいる。一杯のココアから始まる温かい12色の物語。

### 心あたたまる この一冊

皆さんが心穏やかな日々を  
過ごせますように



### 『世界地図の下書き』 朝井リョウ

両親を事故で亡くした小学生の太輔は「青葉おひさまの家」で暮らしはじめる。心を閉ざしていた太輔だが、仲間たちとの日々で、次第に心を開いてゆく。子どもたちが立ち向かうそれぞれの現実と、その先にある一握りの希望を描いた小説。

### 『ライオンのおやつ』 小川糸

男手ひとつで育ててくれた父のもとを離れ、ひとりで暮らしていた雫は病と闘っていたが、ある日医師から余命を告げられる。ホスピスでは、毎週日曜日、入居者が生きている間にもう一度食べたい思い出のおやつをリクエストできる「おやつ時間」があるのだが、雫は選べずにいた。

### 『ゆきうさぎのお品書き』 小湊悠貴

ある事情から、極端に食が細くなってしまった大学生の碧。とうとう貧血で倒れたところを、「ゆきうさぎ」という小料理屋を営む青年、大樹に助けられた。彼の作るおいしい料理に惹かれた碧は、バイトとして雇ってもらうことになる。小料理屋が舞台の、あたたかくておいしい小説シリーズ。



1月のガチャは  
「福をよぶ読書」くじ  
本を借りたらまわせます  
(あたりくじあり)

